

2021年8月23日

調査室

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 26,400~27,800円 TOPIX 1,870~1,950  
 \* 期待材料 国内製造業を中心とした業績改善 秋の衆院選に向けた経済対策  
 \* 不安材料 米中景気鈍化 米国金融緩和縮小 コロナ変異株 アフガン情勢 菅政権支持率低下

8月16日時点の日経平均の予想 EPS は、今期ベースでは日経予想で2,123円(原則として会社予想を使用しており、会社予想が非開示の会社は日経新聞社が独自の予想)、QUICK コンセンサスで2,021円となっている。今期予想 EPS について、QUICK コンセンサスが日経予想を下回った状態となっているが、これはソフトバンク G の業績予想(会社予想は非開示)について、日経が QUICK コンセンサスに対して大幅に強気な予想をしていることが主因である。ソフトバンク G 以外では、製造業を中心に QUICK コンセンサスが日経予想に対して強気予想となっている企業が多い。日経平均採用の3月期決算企業は、製造業を中心に1Qが好調であり、通期業績予想の上方修正を発表する企業が多かった。ただ、上方修正を発表した企業についても、新型コロナウイルスの感染再拡大、半導体に代表される部材調達リスク、原材料市況上昇などを踏まえて、先行きについては1Qの実績に対して慎重な見通しを示している企業が多い。19日にはトヨタが部品調達難を理由に8月から減産に入り、9月の世界生産を計画比で4割程度減らすと発表している。自動車生産は広範な業種に影響を与えるため、先行き不透明感が著しく高まった現状では、引き続き上値の重い展開が続く可能性がある。確かに、これら部材調達リスクなどは大きな懸念材料ではあるが、慎重な前提で業績を予想している企業が多いことから、1Q実績の通期計画に対する進捗率の高い企業が多く、計画達成に向けて下方耐性を持った保守的な業績予想と思われる。業績予想が改善する一方、日経平均株価は2月を高値に、緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大などから調整局面が続いていることで、8月16日時点の予想 PER(日経予想)は13倍を割れている。過去の推移を踏まえると、割安感が意識される水準であり、高い競争力を有する企業については、過度な悲観によって調整した局面では押し目買いを狙いたい。(8月19日現在、多功 毅)

## 今週の予定

	国内	海外
8/23 (月)	処暑 8月製造業 PMI (9:30) 7月粗鋼生産	[欧]8月製造業 PMI (17:00) [米]7月中古住宅販売件数 (23:00) [ウクライナ]クリミア・プラットフォーム首脳会議
24(火)	東京2020パラリンピック競技大会開幕(~9月5日)	[ウクライナ]独立記念日 [米]7月新築住宅販売件数 (23:00)
25(水)	タカショー(7590)2Q決算 6月景気動向指数改定値(14:00) サマージャンボ宝くじ抽選	[北朝鮮]先軍節 [独]8月IFO企業景況感指数(17:00) [米]7月耐久財受注(21:30)
26(木)	7月企業向けサービス価格指数(8:50)	[米]4-6月GDP改定値(21:30) [米]ジャクソンホール会議(~28日)
27(金)	8月東京都区部消費者物価指数(8:30)	[米]7月PCEコアデフレーター(21:30) [中]7月工業企業利益
28(土)	日本脳血管・認知症学会	[仏]陸上ダイヤモンドリーグ
29(日)	焼き肉の日	[ベルギー]自動車F1第12戦ベルギーGP決勝

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 エーザイ (4523) 東証1部



20年03月期 (百万円)		前年比	21年03月期 (百万円)		前年比	22年03月期(予) (百万円)		前年比	株価(8/19)	9,160 円
売上収益	695,621	8.2%	645,942	-7.1%	701,000	8.5%	株価(8/19)	9,160 円	業種	医薬品
営業利益	125,502	45.7%	51,766	-58.8%	76,000	46.8%	時価総額	27,166 億円	PER(予想)	44.80 倍
税引前利益	128,063	43.2%	52,551	-59.0%	76,500	45.6%	PBR(実績)	3.63 倍	ROE(実績)	6.10 %
当期純利益	121,767	92.1%	42,119	-65.4%	58,500	38.9%	配当利回り(予想)	1.74 %	担当	志田 憲太郎
EPS(円)	425.01		146.95		208					
配当金(円)	160		160		160					

出所:業績に関する数値は決算短信より

今なお十分な治療法が確立していない疾病が多くある「神経領域」(アルツハイマー病など)と「がん領域」を重点領域としている製薬会社。21年度から5年間を「EWay Future」、26年度以降を「EWay Beyond」とし21年4月に中期経営計画をスタートさせた。バイオマーカー(CTやMRI、PET検査などにより、疾患の有無や進行状態を示す目安となる生理学的指標)の進化により症状や腫瘍ベースの診断から病態生理学に基づく精密医療の提供を目指している。20年度の主な地域別売上構成は日本35.9%、北米22.1%、中国13.2%、欧州、ロシア、オセアニア8.6%。

22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比20.1%増収の1,989億円、72.5%営業増益の554億円、72.6%最終増益の422億円。日本において薬価改定の影響を受けたが、抗がん剤「レンビマ」をはじめとするグローバルブランド(全世界向け主力製品)が海外で引き続き伸長したことに加え、開発中のがん治療剤で抗体薬物複合体「MORAb-202」に関して米大手製薬から戦略的提携終結に係る契約一時金496億円を受領したことで大幅増収増益となった。主なグローバルブランドの売上は、「レンビマ」が前年同期比27.4%増、抗がん剤「ハラヴェン」が同8.5%増、抗てんかん剤「フィンコパ」が16.0%増。「レンビマ」は7月21日に米国で進行性子宮内膜がん適応についても承認を取得。約50年ぶりの新たな治療法として期待されている。米国で承認を受け注目を集めたアルツハイマー治療剤「アデュカヌマブ(商品名アデュヘルム)」については米国内300以上の医療機関が採用を決めている。別のアルツハイマー病治療剤「レカネマブ」は米国でブレイクスルーセラピー(開発と審査を迅速化する制度)の指定を受けており、21年3月に後期臨床試験で1,795人の被験者の登録を達成した。22年9月末までに主要評価項目の取得を目指して順調に進行中。注目度の高いアルツハイマー治療剤に加えて抗がん剤も販売、開発が好調に推移している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくご依頼致します。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(8/19)	コメント
<b>森永乳業</b> (2264) 東証1部 6,900円	22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比34.2%営業増益となり、1Qの過去最高益を更新。「トリプルヨーグルト」などの機能性ヨーグルトや「ピノ」などアイスの基幹ブランド、海外でラクトフェリン(感染防御機能を持つタンパク質)の販売好調に加えて、外食、ホテル、観光など向け業務用乳製品、オフィスなど向け「マウントレーニア」の販売も回復したことが貢献し上期計画を上方修正。原材料やエネルギー価格の動向が不透明なため通期計画は据え置きも、進捗は順調に推移している。(松本 直志)
<b>テルモ</b> (4543) 東証1部 4,500円	22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比30.8%増収、営業利益は2.0倍、99.2%最終増益だった。コロナ禍の影響が大きかった心臓血管事業において血管内カテーテルなどが北米、欧州を中心に症例数が顕著に回復したほか、ホスピタル事業、血液・細胞テクノロジー事業も増収増益となったことで、四半期として過去最高の売上、営業利益となった。想定を上回るスピードで需要が回復しており、デルタ株感染拡大による再度の受診抑制のリスクはあるが、回復基調は継続される見込みで、アフターコロナも見据えた需要に期待したい。(志田 憲太郎)
<b>ミルボン</b> (4919) 東証1部 6,280円	21年12月期2Q累計(1-6月)決算は、前年同期比23.3%増収、53.2%営業増益。美容室の利用回復や取扱店舗の拡大、美容室での店頭販売の増加などにより、ヘアケア用剤や染毛剤の販売が伸び大幅増収増益を達成、通期計画も上方修正。海外でも営業活動を強化したことや商品に対する高い評価を受け、米国、中国などでヘアケア用剤、染毛剤の販売が拡大。マスク生活下で髪へのケアに対する関心が高まっており、下期も販売は堅調に推移することが期待される。(松本 直志)
<b>マキタ</b> (6586) 東証1部 5,830円	22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比45.9%増収、82.3%営業増益。巣ごもり需要が一巡するなか、建築・建設業従事者向けの電動工具、園芸用機器が国内外で好調。通期については、1Qの売上が想定以上に堅調に推移したことや想定に対して円安で推移したことを踏まえて、通期予想を6.8%増収(期初0.3%増収)、営業利益横ばい(同6.2%減益)に上方修正。2Q以降の計画については、期初の見通しを据え置いたとしている。(多功 毅)
<b>日産自動車</b> (7201) 東証1部 565.7円	22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比71.0%増収、営業利益は757億円の黒字転換。前期4Q比では21.1%減収も、190億円の営業赤字から大幅に改善。生産、販売は半導体不足の影響を受けたものの、好採算車種の拡販、インセンティブの抑制が効き、想定以上に収益体質の改善が進んでいる。原材料価格の上昇による影響を織り込んだうえで、販売改善や円安効果が上回るとして、通期計画を24.0%増収、営業利益を1,500億円(従来計画ではゼロ)に上方修正。(多功 毅)
<b>オリンパス</b> (7733) 東証1部 2,281.5円	22年3月期1Q(4-6月)決算は前年同期比40.2%増収、営業利益は7.5倍、最終利益は黒字転換した。コロナ禍で停滞していた症例数の回復や病院の予算執行により医療分野がけん引し、大幅増収を達成。コロナ禍前の19年3月期を上回る水準となった。営業利益は売上回復を主要因に1Qとして額・利益率ともに四半期開示を始めた09年以降最高となった。通期でも売上はコロナ禍前を上回る見込みで、営業利益は1,400億円、利益率17%と過去最高を見込む。(志田 憲太郎)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

## ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室